

大分県でバス事業を主に手掛ける大分交通が「LINE WORKS」を導入 バスの運行に関する重要情報を素早く共有し、円滑な業務遂行が可能に

現場に強い仕事用のLINE「LINE WORKS」を提供するワークスマバイルジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石黒 豊、以下 ワークスマバイルジャパン）は、大分県でバス事業を中心に、携帯電話販売事業や不動産事業などを手掛ける大分交通株式会社（本社：大分県大分市、代表取締役社長：杉原正晴、以下 大分交通）が「LINE WORKS」を導入したことをお知らせいたします。なお、本件は、「LINE WORKS」のセールス&サポートパートナーである株式会社ティーガイア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：金治 伸隆、以下 ティーガイア）により提供が行われます。

LINE WORKS



大分交通ではこれまで、主に電話やメールで社員どうしの情報共有を行っていましたが、リアルタイムに対応することが難しい社員も多く、迅速な情報共有ができないことが課題となっていました。

この度の「LINE WORKS」導入により、台風など、バスの運行をさまたげるトラブルが発生した場合に、関係者への連絡事項をトークで一齐送信することが可能になり、画像や動画を添付することで、より正確な情報を伝えられるようになりました。また、部門の垣根を超えたコミュニケーションが増えており、コロナ禍で対面コミュニケーションが希薄となっている中、社員間の距離を埋めるツールとしても活用しています。

WORKS MOBILE



トーク：運行中のバスに事故が発生した場合は、LINE WORKS でリアルタイムに現場状況を共有

大分交通では今後も、カレンダーなどの「LINE WORKS」の機能を活用し、業務生産性の向上や文書のペーパーレス化を図るとともに、バス・タクシー等のグループ会社への導入も積極的に進め、情報共有体制のさらなる強化を行う予定です。

ワークスマイルジャパン株式会社 WEB サイトにおいて、大分交通へのインタビューを掲載しております。

<https://line.worksmobile.com/jp/cases/oitakotsu/>

今後もワークスマイルジャパンは、企業のコミュニケーションや情報共有を円滑にし、利便性向上に貢献する取り組みを進めてまいります。

「LINE WORKS」とは

チャットやスタンプはもちろん、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケートなど、現場で活用できる充実したグループウェア機能を揃えた「仕事用 LINE」です。なじみのあるコミュニケーションアプリ

WORKS MOBILE

「LINE」のような使いやすさのため、ユーザーの教育も必要なく、導入したその日から誰でもすぐに使えます。2020年9月に発表された「ソフトウェアビジネス新市場 2020年版」※1では、3年連続で有料ビジネスチャット国内シェア No.1 を獲得しました。

※1：出典 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2020年版」

■会社概要

社名：ワークスモバイルジャパン株式会社

本社：東京都渋谷区神宮前 1-5-8 神宮前タワービルディング 11F

設立：2015年6月

代表者：代表取締役社長 石黒豊

資本金：55億2,000万円

URL：<https://line.worksmobile.com/jp/>

※記載の会社名、製品名は、それぞれ会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ワークスモバイルジャパン広報事務局（株カケル内） 担当：山崎

TEL：070-4471-4264

Mail：info@kakelu.com